

2019年2月7日

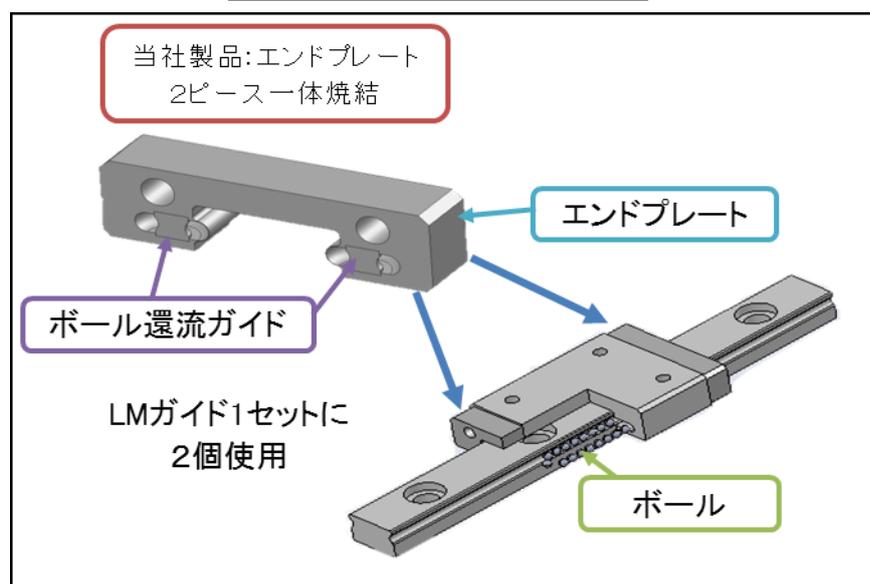
金属製直動型ベアリング(THK株式会社 LMガイド)部品の5割強を受託生産

国内70%、世界50%強のシェアを持つ、直動型ベアリングのトップメーカーであるTHK株式会社のLM(リニア・モーション)ガイドのエンドプレートの8割強が一般の樹脂成形によるプラスチック製ですが、高温環境下や高速で使用する本部品は金属(ステンレス)を採用する必要があります。

当社は本製品のエンドプレート及びボール環流ガイドの2部品において当社製材料、当社設計金型による完全受託生産での受注が決まり、2018年10月より生産を開始しました。また、生産を開始した5品番に加え、新規2品番の追加受注を獲得しました。これにより、同社金属製LMガイドの5割強を完全受託生産する見込みです。2018年10月より、一部生産を開始した本製品のPIM事業の今期売上高に占める割合は約3割を占める重要な戦略商品となり、来期以降も継続的に安定供給するための生産体制を強化して参ります。

尚、世界中で逼迫していた同製品については、中国経済の失速により、半導体設備、工作機械、ロボット関連機器など一部で生産調整に入る見込みですが、全7品番の立ち上げ、完全受託生産体制は2019年3月に完了予定です。

直動型ベアリング部品概略



当社PIM(パウダー・インジェクション・モールドイング)技術により、2つの部品を別々に成形し、焼結前に組み合わせ同時焼結することで一体化が可能となり、安価かつ高品質な部品の量産技術を確立

以上